

★今月の星もよう★

3月中旬夜8時頃、南の空の高いところにかたご座の1等星「ポルクス」と2等星の「カストル」、0等星の「火星」が三角形を作って輝いています。かたご座はギリシャ神話で神の血を引く不死身のポルクスと、人間の体を持つカストルの姿を表しています。戦いで死んでしまったカストルと、ずっと一緒にいたいと願ったポルクスのかたごを、神ゼウスが星座にしたと言われています。2つの星が並んでいる姿から日本では「ふたつぼし」という星名があります。かたご座の下にはこいぬ座やおおいぬ座、東の空にはかに座やしし座などの春の星座が昇ってきます。かたご座としし座の間にあるかに座は、明るい星がないため探すのが難しい星座ですが、かに座の甲羅にあたる4つの星の中心には、小さな星の集りの「プレセペ星団」があります。肉眼だと淡く光るもやのように見えますが、双眼鏡だと数十個の星の集りを見ることができます。街明かりや月明かりの無い場所で観察してみましょう。

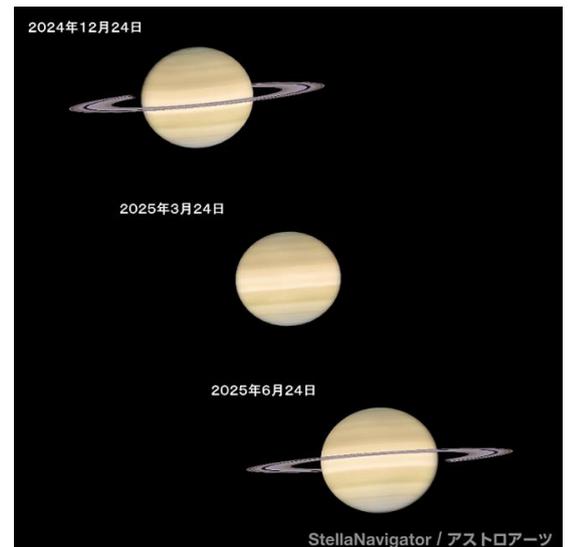


★土星の環の消失★

環があることで観望会でも人気の土星ですが、3月24日に「土星の環の消失」という現象が起こります。

「環の消失」とは、実際に環が消えてしまうのではなく、地球から環が見えなくなるということです。土星の環は地球から見ると約15年の周期で傾きが大きくなったり小さくなったりを繰り返していて、厚みが数百m程度と大変薄いので、地球に対してちょうど真横を向くときに見えなくなります。3月24日に環の無い土星を観察してみたいところですが、残念ながらこの時期の土星は太陽の方角に位置するため夜空では観察できません。4月25日頃になると、朝4時～4時半頃の東の空に環の見えない土星を見ることができます。

天体望遠鏡を使って、普段とは違う土星の姿をぜひ観察してみてください。



★フレアデス星団食★

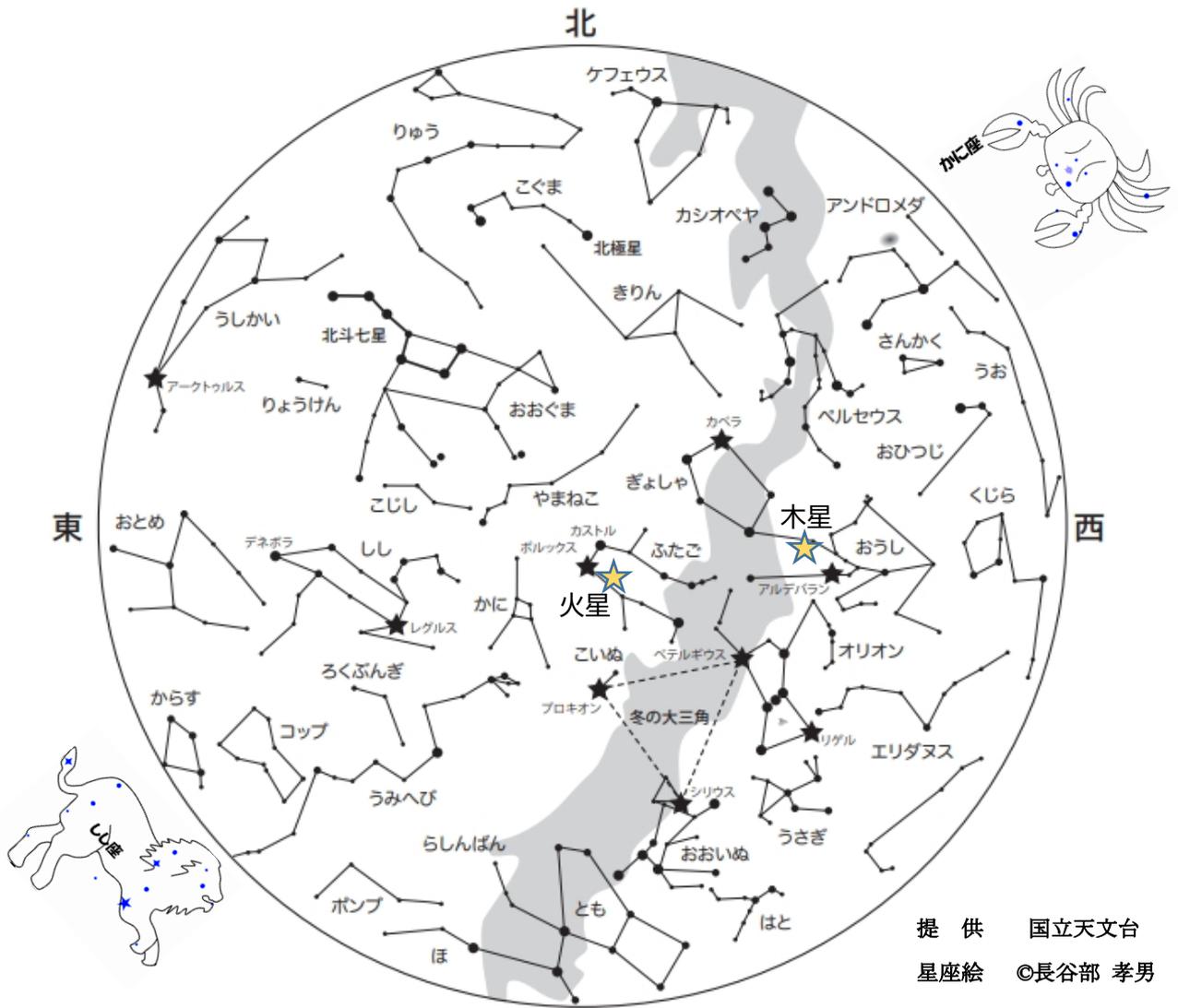
3月5日の22時頃から月齢6の上弦前の月がおうし座のフレアデス星団(M45、すばる)を隠す現象が起こります。今回は月の暗い部分に星が次々と隠されていくので比較的観察しやすいです。高度が15度前後(親指と人差し指を開いた幅)と低いので、西北西の空が開けたところで観察してみましょう。双眼鏡や低倍率の天体望遠鏡を使った観察がおすすめです。今年は4回フレアデス星団食が起こりますが、今回と8月16日が好条件です。



☆プラネタリウムの内容については、別刷りの「投影案内」をご覧ください

☆プラネタリウムのお休み 3/3(月)、10(月)、17(月)、19(水)、21(金)、24(月)、31(月)

3月中旬 午後8時頃の星空



★ 3月の主な天文現象 ★

ジャクサ おおにしたくや アイエスエス
JAXA 大西卓哉さん 3月にISSへ

5日(水)	プレアデス星団の食
7日(金)	上弦
8日(土)	水星が東方最大離角
14日(金)	満月 ワームムーン
15日(土)	月が赤道通過 南半球へ
20日(木)	春分
22日(土)	下弦
24日(月)	土星の環の消失 地球から見て環の傾きが0になる
29日(土)	新月

宇宙航空研究開発機構(JAXA)の大西卓哉さんを
 含む4名の宇宙飛行士の方々が、3月からISS(国際
 宇宙ステーション)に長期滞在する予定です。滞在中
 は大西さんがISS船長に就任し、様々な研究が行
 われる予定です。



JAXA/NASA